

平成26年9月29日 定例会 討論(案) 《政友みらい》 小暮博志

○18番(小暮博志) ただいまより政友みらいを代表いたしまして、決算審査特別委員会に付託され審査されました、議案第98号 平成25年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について から議案第111号 平成25年度佐野地区広域消防組合一般会計歳入歳出決算の認定についてまで、以上14議案の採決にあたりまして、全て、賛成の立場から討論をさせていただきます。

平成25年度の予算は、総合計画中期基本計画に基づき、行政経営方針のもと編成され、特徴として「子育て環境の充実」、「市民の安全・安心の確保」並びに、「産業の活性化」に力を注ぐとともに、田中正造翁の様々な顕彰を盛り込み編成したもので、となっていました。

平成25年度は、安倍内閣の景気回復策として、潤沢なお金が市場に増え、円相場が1ドル80円位であったのが、1ドル100円位に円安となった年であり、財政運営も大変不安があったことと思います。この様な状況の中での決算にたいし、一般会計の財政状況と実施状況、及び、特別会計の一部の内容を述べて賛成討論とさせていただきます。

一般会計の財政状況ですが、当初予算に対し12回の補正予算を行った歳入歳出において、歳入決定額464億2,379万8,000円は当

初予算額の $\oplus 0.1\%$ （5,400万円）であり、当初の予算額に非常に近い額となっており、予測の素晴らしさを感じた次第です。歳入決定額の市税につきましては、徴収率が**93.3%**と前年に比較し**1.9%**改善して収入未収額が減額となっており、収納に対する職員の努力が表れておりますが、地方経済の低迷や固定資産評価額も下げ止まらないなどがあり、全体としては昨年より**0.2%**の減額となっていました。因みに、財務省の一般会計税収は約**3.4%**の増額をみており、地方経済の回復遅れが見られる所であります。

歳入歳出の総額関係ですが、平成**25**年度の歳入と歳出の差から翌年度に繰り越す継続費や繰越明許費を控除した実質収支は**22億101万4千円**であり、大きく見えるが、実質単年度収支額は**5億3,543万円4千円**となっており、標準財政規模の**1.9%**であり、普通望ましいといわれている**3~5%**に若干足りないが良好な状態と理解しました。

又、平成**25**年度の一般会計後の基金残高と市債残高の状況をみますと、財政調整基金、減債基金やその他の基金残高は約**7億6,100万円**増額、市債残高は約**10億8,100万円**減となっており、健全な財政状況で推移したと、理解しております。

この様な良好な財政運営の中で、平成 25 年の特徴として力を注ぐ事業と上げていた内容を振り返って見ますと、「子育て環境の充実」では、(仮称) よねやま保育園建設事業土地購入、(仮称) 第 2 田沼こども整備事業の新設、こどもクラブ運営の 4 か所増加、不育症治療費助成事業の創設がなされ、「市民の安全・安心の確保」では、市計画道路 3・5・212 号奈良渕整備による安全確保の推進、防犯カメラ 8 台設置による犯罪防止、10 町会のモデル自主防災組織を指定して防災機材の強化、橋梁の維持補修事業 5 箇所と橋梁の長寿命化事業 2 箇所、ハザードマップの配布がなされ、「産業の活性化」では、「西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計」を設置して事業を開始、佐野田沼インター産業団地造成事業の早期分譲、インランドポートの意向調査の実施 がなされていきました。田中正造翁の様々の顕彰も、記念式典の開催、記念演劇公演や P R などを実施し、予定された内容の執行がなされていた と評価しました。

その他、平成 25 年度は、佐野ブランドキャラクター「さのまる」が「ゆるキャラ®グランプリ 2013」で優勝し、佐野市の名を日本中に広め、活性化に寄与していることは嬉しい限りであり、都市ブランド推進室に敬意を申し上げます。又、平成 25 年度は、新庁舎の入

札が、価格点と技術評価点で評価する総合評価方式で行われ、鹿島建設株式会社が落札して、平成 25 年 9 月 30 日に契約しました。9 月に契約出来たことにより、消費税の税率も 5%の特例が適用されており、喜ばしいことであったと思います。新庁舎建設工事も計画どおり進み、今後とも、安全で計画通りの工事進行をお願い致します。

次に、特別会計においては、特に議案第 98 号 平成 25 年度佐野市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について、及び、議案第 110 号 平成 25 年度佐野市病院事業会計決算の認定について述べます。

国民健康保険事業においては、歳入歳出の差引残高が 10 億、5,680 万 9,243 円となりました。しかし、平成 25 年度は特別交付金の増が約 5 億円ほどあつた事を考え、更に、実質単年度収支を考えて見ると、黒字は僅かとなっていると思われます。国民健康保険加入者には退職者が多く所得の低い人が多くなっている事、保険加入者が高齢化の方向にあり保険給付費も増大の傾向にある事、一般会計から約 10 億円ほどの充当がある事などを考えると、保険給付費を下げるための病気予防の活動等を行う事をお願いしたいと思ひます。

また、佐野市病院事業会計関係において、市民病院収支計画を見

ますと、収益面で今後 4 年、毎年約 4 億円強の赤字が予想されております。内容を見ますと、入院患者数の不足、医業費用の増加、臨時医師が半数を占めている等見られるわけですが、青葉会全体としては黒字と見られますので、市民病院も黒字化達成に鋭意努力して頂きたいとお願いいたします。

最後になりますが、平成 25 年度の決算は、総合計画中期基本計画の中の基本事業 128 に及び、そして実施され評価し、次年度の事務事業の方針や事業の決定に行かされる状況にあるわけです。今回も、4 日間に渡り 27 人の議員により決算特別委員会が実施され、大切な時間を使って、様々な有意義な質問や意見がかわされました。決算委員長から、今後の要望書も出されておりますが、議案は適切に執行されたものと判断し、政友みらいを代表して賛成討論と致します。